

【 1 】 つぎの史料について、設問に答えよ。

鎌倉元のごとく柳營たるべきか、他所たるべきや否やの事…… 就中、鎌倉郡は、①文治に右幕下はじめて武館を構へ、②承久に義時朝臣天下を併吞す。武家に於ては、もつとも吉士と謂ふべきか。ここに禄多く権重く、驕を極め欲をほしいままにし、悪を積みて改めず。③果たして滅亡せしめ了んぬ。たとひ他所たりといへども、近代覆軍の轍を改めずば、傾危なんの疑ひあるべけんや。…… 遠くは④延喜・天曆両聖の徳化を訪ひ、近くは⑤義時・泰時父子の行状をもつて、⑥近代の師となす。ことに万人帰仰の政道を施されば、四海安全の基たるべきか。…… よつて言上件のごとし。

問1 文中の下線部①文治に右幕下はじめて武館を構へに関して述べた文 a～e を時代の古い順に並びかえたとき、**2番目と3番目の正しい組み合わせ**はどれか下から選び、答えよ。

- a. 後白河上皇と交渉した源頼朝は、東海・東山両道の支配権を獲得した。
- b. 源頼朝は、上洛を実現して権大納言・右近衛大将に任じられた。
- c. 挙兵した源頼朝は、石橋山の合戦で敗北後、相模の鎌倉に入った。
- d. 後白河上皇の没後、源頼朝は征夷大將軍に任じられた。
- e. 平家滅亡後、源頼朝は諸国に守護を、莊園公領ごとに地頭を任命した。

ア. a - d イ. a - e ウ. c - a エ. c - b

問2 文中の下線部②承久に義時朝臣天下を併吞すに関して述べた文ア～エの中から**誤っているもの**を選び、答えよ。

- ア. 北条義時は、北条泰時・時房らの率いる軍勢を送り、後鳥羽上皇方に勝利した。
- イ. 後鳥羽上皇は広大な皇室領莊園を財源とし、新たに西面の武士を設けた。
- ウ. 承久の乱後、幕府は後鳥羽上皇を隱岐に配流して皇位継承に介入した。
- エ. 北条義時追討の院宣により東国有力御家人の多数が後鳥羽上皇方として動員された。

問3 文中の下線部③果たして滅亡せしめ了んぬについて滅亡した得宗と御内人の正しい組み合わせを選び、答えよ。

- ア. 北条貞時 - 平頼綱 ウ. 北条高時 - 長崎高資
- イ. 北条貞時 - 長崎高資 エ. 北条高時 - 平頼綱

問4 文中の下線部④延喜・天曆両聖の徳化を訪ひ、建武の新政をおこなった天皇はだれか。

ア. 後三条天皇 イ. 後醍醐天皇 ウ. 後白河天皇 エ. 後鳥羽天皇

問5 文中の下線部⑤義時・泰時父子の行状ぎとうじょうにあてはまらないものを選び、答えよ。

- ア. 異国警固番役の任命 ウ. 御成敗式目の制定
イ. 新補地頭の設置 エ. 評定衆の任命

問6 文中の下線部⑥近代の師について、北条義時・泰時の治績を手本とした人物はどれか。

問7 史料後のできごとに関して述べた文 a～e を時代の古い順に並びかえたとき、1番目と4番目の正しい組み合わせはどれか下から選び、答えよ。

- a. 足利義満は、吉野の南朝方と交渉して南北朝の合一を実現し内乱に終止符を打った。
b. 対立していた細川勝元と山名持豊が將軍家の家督争いに介入し応仁の乱が始まった。
c. 幕府に反抗的な鎌倉公方の足利持氏は、永享の乱で足利義教に滅ぼされた。
d. 保守勢力を背景とする足利直義と高師直を中心とする新興勢力が抗争に突入した。
e. 足利成氏と対立した上杉憲忠が謀殺されたことを発端に享徳の乱がおこった。

- ア. a - b イ. b - c ウ. c - d エ. d - e

【2】 戦国時代についての文中（ ）1～14に適語を選択し、後の問に答えよ。

関東では、15世紀末、幕府政所執事一族である（1）が相模に進出し、子の氏綱・孫の（2）の時には関東の大半を支配した。中部地方では、16世紀半ばに越後守護上杉氏の守護代であった（3）氏から出た景虎が、関東管領を継承して（4）と名乗り、甲斐から信濃に領国を拡張していた（5）と北信濃の（6）などで戦った。中国地方では、守護大名（7）氏が、16世紀の半ばに重臣の（8）によって滅亡し、さらに安芸国人（9）が代わり、山陰地方の（10）氏と激しい戦闘をくり返した。九州では豊後の（11）氏と薩摩を中心に南部を支配した（12）氏が優勢だった。戦国大名は、服属させた国人らの収益を銭に換算した基準で把握し、一定の（13）を負担させる（14）制によって軍事制度の基礎を確立した。また、領国支配の基本法である(a)分国法を制定するものもあり、その中には(b)喧嘩両成敗法など、新しい権力としての性格を示す法も多かった。一方、(c)新たに征服した土地などで検地を実施し、分国支配の拠点として(d)城下町を建設した。

《語群》

- ア. 氏康 工. 尼子 キ. 上杉謙信 コ. 斎藤道三 ス. 巖島 タ. 石高 テ. 武田晴信 ニ. 三好長慶
 イ. 最上 オ. 長尾 ク. 毛利元就 サ. 伊勢盛時 セ. 大友 チ. 軍役 ト. 長宗我部 ヌ. 大内
 ウ. 氏政 カ. 陶晴賢 ケ. 伊達 シ. 川中島 ソ. 年貢 ツ. 島津 ナ. 貫高

問1 下線部(a)について、制定者と分国法の組み合わせとして誤っているものを選べ。

- ア. 北条氏 - 塵芥集 イ. 三好氏 - 新加制式 ウ. 大内氏 - 掟書 エ. 今川氏 - 仮名目録

問2 下線部(b)についての下の史料を記した分国法はどれか。

喧嘩の事、是非に及ばず成敗を加ふべし。但し、取り懸ると雖も、堪忍せしむるの輩に於ては、罪科に処すべからず。

- ア. 建武以来追加 イ. 塵芥集 ウ. 朝倉孝景条々 エ. 甲州法度之次第

問3 下線部(c)について、家臣に支配地の面積や収入額を自己申告させる検地の方式は何か。

問4 下線部(d)について、大内氏と上杉氏の城下町の正しい組合せはどれか。

- ア. 小田原 - 春日山 イ. 山口 - 春日山 ウ. 山口 - 一乗谷 エ. 小田原 - 一乗谷

解答

- 【1】 問1 イ(2点) 問2 エ(1点) 問3 ウ(1点) 問4 イ(1点)
 問5 ア(1点) 問6 足利尊氏(足利直義)(2点) 問7 エ(2点)(d-a-c-e-b)
 【2】 1. サ 2. ア 3. オ 4. キ 5. テ 6. シ 7. ヌ 8. カ 9. ク 10. エ
 11. セ 12. ツ 13. チ 14. ナ
 問1 ア 問2 エ 問3 指出(指出検地) 問4 イ